

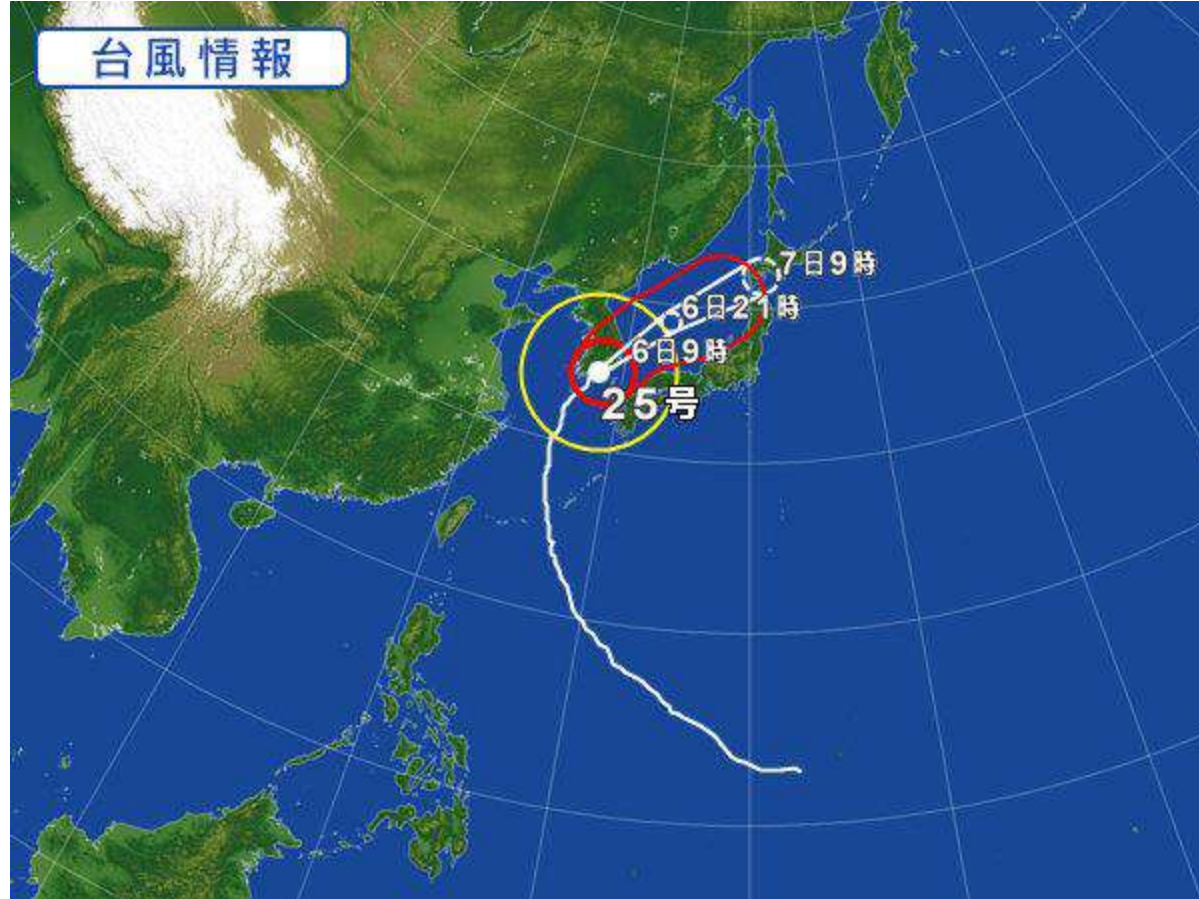
幸せアイランドを創る

—「暮らし続ける幸せの島・淡路島を目指して」—

持続可能性を重視したビジネスを推進し、地域課題解決に貢献して生きていく



台風情報



課題先進国

- (気候変動)
東京の年平均気温は100年で3.3°C上昇
- (地震)
今後30年以内に震度6弱以上の東海地震が発生する確率は87%
- (エネルギー)
エネルギー自給率4%
- (食料自給)
食料自給率は先進国最低レベルの40%

課題先進国

- (森林)
森林の国土占有率は66% 林業従事者の全就業占有率は0.1%
- (ものづくり)
製造業の生産額はピークの1991年から32%減
- (人口減少)
2100年の総人口は5000万人割れ
- (高齢化)
日本人の中位年齢は2025年に50歳越え
- (空家)
2008年の空家率は13% 2060年には50%超え (空家)

課題先進国

- (子どもの心と体)

軽度発達障害児の出現頻度は 8~9%

- (多世帯化)

2030年の全世帯に占める単独世帯比率は37%

- (孤独死)

孤独死は年間、26,821人

- (生涯未婚率)

2030年の生涯未婚率は 男30% 女23%

課題先進国

- (育児)

育児休暇取得率は 男 2% 女 86%

- (経済格差と雇用)

生活保護受給者は176万人 保護率 (100世帯あたり) 3%

- (医療・介護)

医師数は人口1000人あたり2名

- (自殺)

自殺者数は13年連続 3万人超え 交通事故の4倍以上

課題先進国 日本

課題先進国



課題解決先進国

これからの地域を考える

～地域住民が主役の地域づくり～

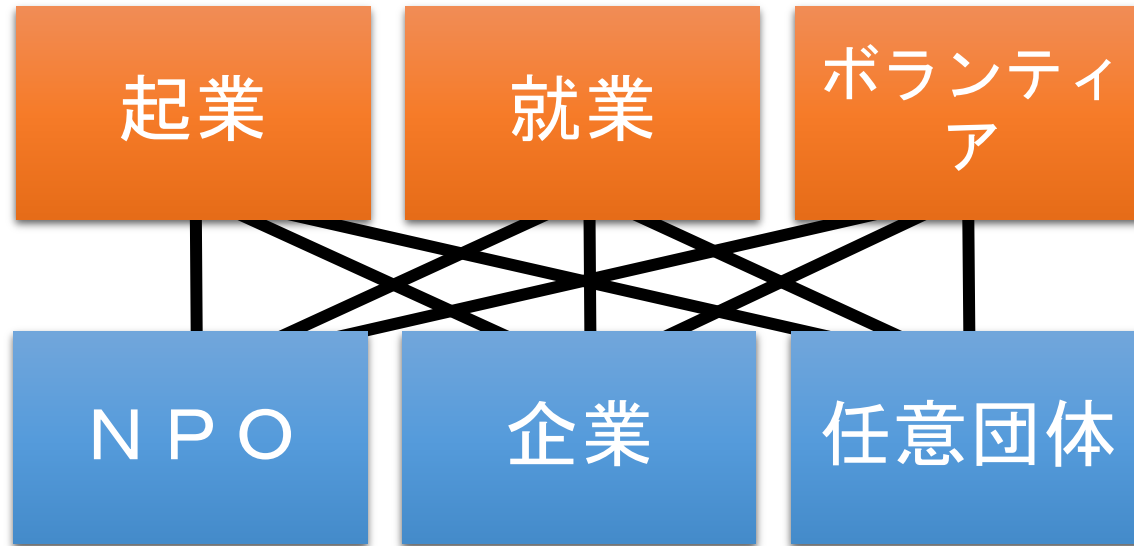
今日の話

- 自己紹介
 - 生きがいしごとサポートセンター
 - コミュニティ・ビジネス
- 少子高齢社会
 - 時代の変化と政治・経済の限界
 - 地域課題の解決
 - 「誰がやる？」
 - コレクティブインパクト
 - 住民が主役
 - 住民を巻き込むには
- 本当の幸せを考える時代

生きがいしごとサポートセンターとは

- 兵庫県の支援により、NPO法人・一般社団法人が運営
- 2000年兵庫県内 1ヶ所からスタート
現在は県内 6ヶ所に設置
- 「生きがいしごと」を総合的に支援

「生きがいしごと」の多様性



地域の課題を解決し、地域を元気にする

コミュニティビジネスを総合的に支援

相談



出張相談



センターでの相談

現場でのアドバイス



セミナー開催



淡路島でのセンターでの相談

セミナー講師



見学会



私のしごと

- 変革のためにNPOができることは、
- 人と社会とのつながりを強め、問題解決の参加の手法を多く提示し、
- 人々をして、それを使えるようにすること。
- 新しい問題が常に発生している社会において、人々の問題解決能力を高めること。
- 人々に自分の能力を信じさせ、どんな困難な課題でも克服できるのだという思いを現実のものにすること
- NPOは人と社会の変革を目的にしている

(ピーター・F・ドラッカー「非営利組織の経営」より)

私のしごと

- 社会を良くしようと頑張る人をサポートするしごと
- 寄り添う（手続き・考えておく視点・アドバイス・事例紹介）
- 情報の提供
- コーディネート
- 視点やものさしになるようなものを提示する（セミナー）
- 事務的アドバイス

私のしごと

- 人と社会とのかかわりを強め、問題解決の参加の手法を多く提示し、
- 人々をして、それを使えるようにすること。
- 新しい問題が常に発生している社会において、人々の問題解決能力を高めること。
- 人々に自分の能力を信じさせ、どんな困難な課題でも克服できるのだという思いを現実のものにすること

(ピーター・F・ドラッカー「非営利組織の経営」より)

コミュニティ・ビジネスとは

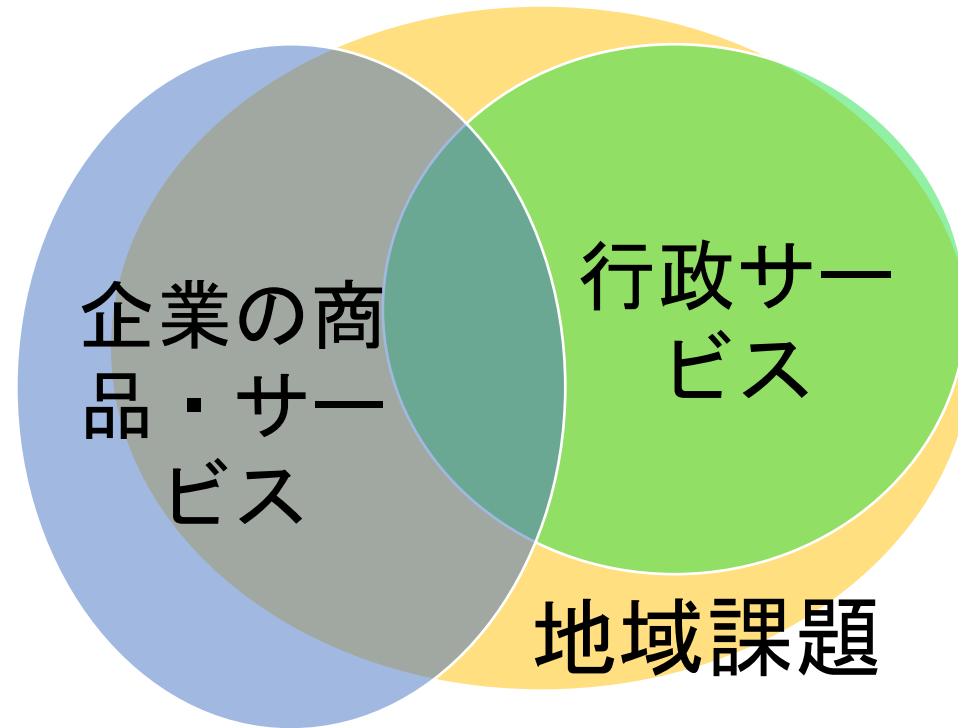
- 「地域の問題は、そこに住む自分たちの力で解決しよう」という思いから始まり、その活動を安定的に続けて行くために「ビジネス」という手法を用いて収益を生み出す活動(事業)
- 地域資源を活用
- 地域の雇用を生み出す

地域の課題を
当事者である住民が
解決する取組みを
支援する

なぜ行政がやらない？

問題が複雑だから
行政にお金がないから
公正性が問われるから
人がいないから

地域課題の起こる場所



2016年12月 香川県の自宅の前で結愛ちゃんが唇から出血した状態で放置され、児童相談所が一時保護をしていた

2017年2月 一時保護を解除され自宅に戻る

2017年3月 また放置され、児童相談所が2度目の一時保護

2017年4月 幼稚園を退園

2017年7月 一時保護を再び解除

2017年8月 結愛ちゃんが「パパにけられた」と病院が市に通報もしていた

2018年1月 東京に引っ越し。香川の児童相談所から東京の児童相談所にそれまでの経緯や情報は全て伝えていた

2018年2月9日 東京の児童相談所職員が自宅訪問したが、結愛ちゃんに会わせてもらえず

2018年2月20日 小学校の入学説明のため関係職員が自宅訪問したが、結愛ちゃんに会わせてもらえず

2018年2月下旬 父親が結愛ちゃんの顔面殴るなどの暴行

2018年3月2日 搬送先の病院で結愛ちゃん死亡。享年5歳
(引用：[FNN PRIME online](#)より)

地域課題の解決

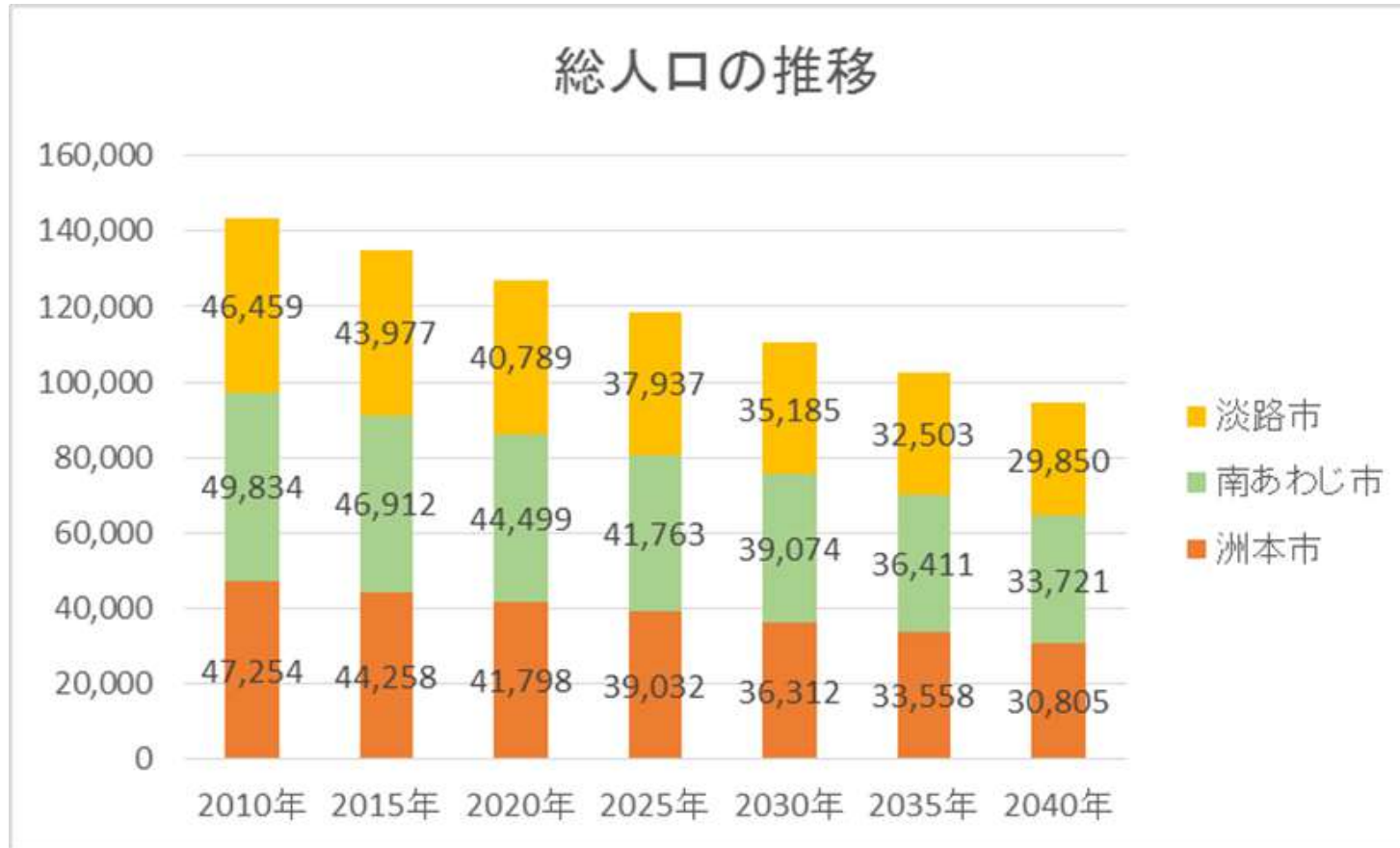
- 特定と認知が進まないため行政制度でカバーできない。
- 収益が見込めないなので、企業も参入しない。
- そこにいる「当事者」が解決の行動を起こす



市民が当事者となって、地域課題に関わる

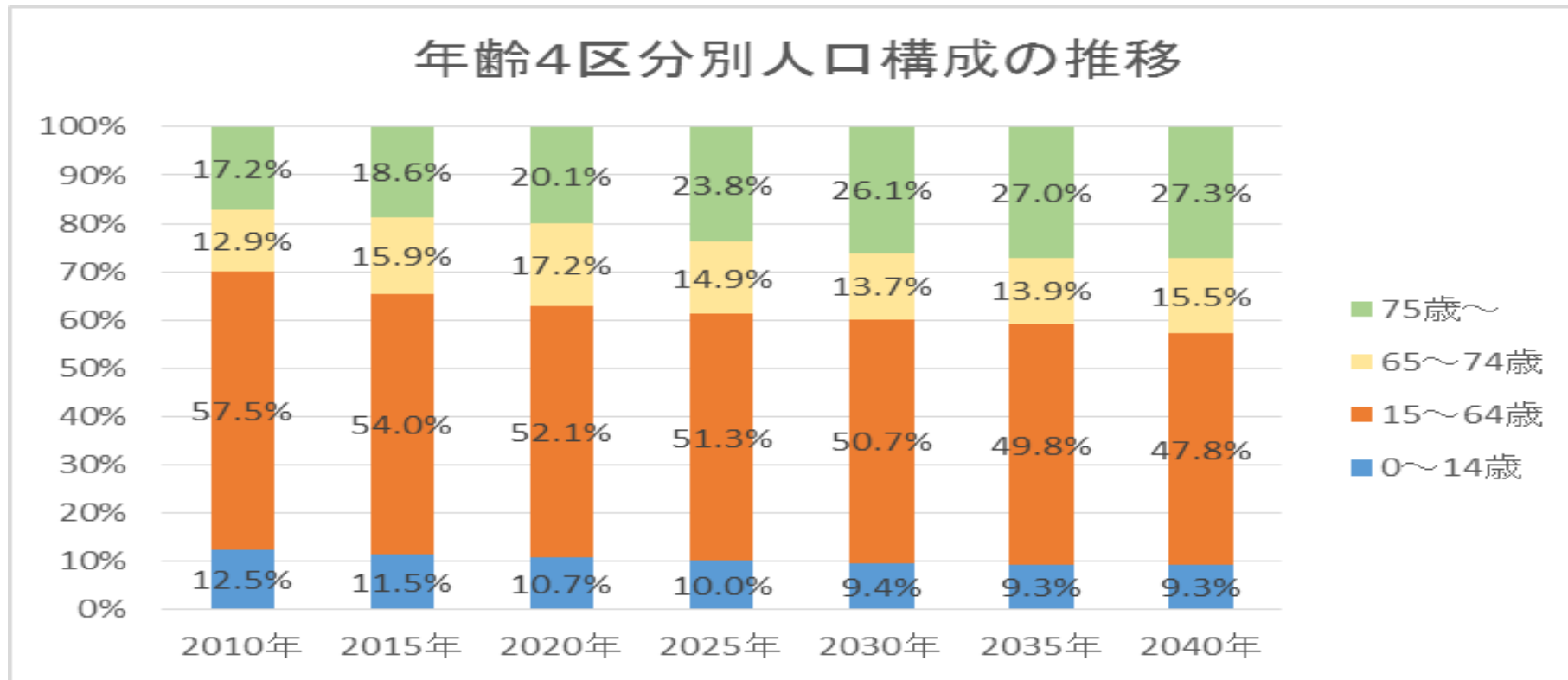
少子高齡社会

□2015年から2040年にかけて総人口が3割減少する



(出所) 国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所「市町別将来人口推計」平成25年3月推計

- 2035年には生産年齢（15～64歳）人口が総人口の半分を下回る



(出所) 国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所「市町別将来人口推計」平成25年3月推計

□ 高齢（65歳以上）単身世帯の増加

	平成22年	平成27年	増減
洲本市	2,448	2,851	403
南あわじ市	1,713	2,083	370
淡路市	2,388	2,888	500
淡路地域	6,549	7,822	1,273

(出所) 国勢調査

単位：世帯

□ 生活保護世帯の増加

	平成22 年度平均	平成26 年度平均	増減
洲本市	360	423	63
南あわじ市	195	216	21
淡路市	304	347	43
淡路地域	859	986	127

(出所) 兵庫県情報事務センター、兵庫県障害福祉課

単位：世帯

□ 空き家の増加

	平成20年	平成25年	増減
洲本市	3,050	2,890	▲ 160
南あわじ市	1,840	2,090	250
淡路市	2,610	2,930	320
淡路地域	7,500	7,910	410

(出所) 総務省「住宅・土地統計調査」

単位：戸

(注) 二次的住宅、賃貸用住宅、売却用住宅を除く空き家。

□ 耕作放棄地の拡大

	平成22年	平成27年	増減
洲本市	158	351	193
南あわじ市	126	298	172
淡路市	344	687	343
淡路地域	628	1,336	708

(出所) 農林水産省「農林業センサス」

単位 : ha

□ 小規模集落の増加

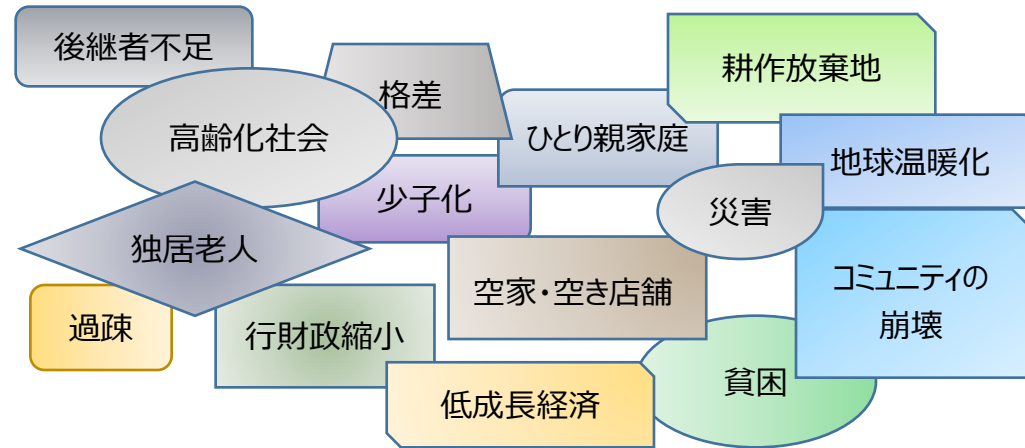
	平成19年	平成23年	平成27年
淡路地域	44	65	94

(注) 小規模集落とは世帯数50戸以下で高齢化率
(65歳以上比率) 40%以上の集落。

□ 3市の高齢化率と県内市町別順位

	65歳以上		75歳以上	
	率(%)	順位	率(%)	順位
洲本市	34.2	9	17.7	9
南あわじ市	33.8	12	17.5	13
淡路市	36.7	5	20.1	5
県平均	26.9	-	12.7	-

地域課題



政治と経済の限界

- 社会構造の変化
- 経済構造の変化
- 行政の役割の変化
- 価値観の変化

社会構造の変化

多様化・高度化する価値観やニーズ

都市化・少子高齢化の進展による核家族・単身高齢者（夫婦）世帯の増加

地縁・血縁によるコミュニティへの帰属意識の希薄化

相互扶助機能の低下
（介護・子育てに悩む家族・ひきこもり・不登校問題等

新たな人間関係に基づくコミュニティづくり

経済構造の変化

経済のグローバル化
と企業間競争の激化
製造業の海外生産拠
点の増加
郊外型大型商業施設
の増加など消費スタ
イルの変化

国内産業の空洞化
中心市街地の商店街
の衰退
能力活用機会の不足
(若者・高齢者・女
性・障がい者)

地域内での循環型経済活動の
しくみづくり

行政の役割の変化

社会保障費の増加
と景気低迷による
財政難

行財政改革、規制
緩和の推進

画一的・公平・平
等な行政サービス
の限界

行財政改革による
コストの削減と民
間企業・市民活動
の創意工夫を活か
す地域づくり

官から民への事業
委託の実施

住民との協働による新たな公益サー
ビスの提供

全て

住民の参画なしに解決できない

誰がそのしくみをつくるの？

住民自らが考える
一人では解けないので、
みんなで考える

事業づくりの基本



- 現代社会では、もはや直接的な市民性の発揮は不可能である。
- 我々が行われるのは、投票し、納税することだけである
- しかしNPOのボランティアとして、我々は再び市民となる。
- 社会的な秩序・価値・行動・ビジョンに対して、再び直接の影響を与えられるようになる。
- 自ら社会的な成果を生み出せるようになる
(ピーター・F・ドラッカー「すでに起こった未来」より)

地方行政 域づくり



事業型の地

地域の活性化を図り、豊かで安全・安心な生活を実現していくためには、多様な担い手が参加し、地域資源を活かしながら、地域の現場の活力と知恵により、地域における新たな職や生活サービスを生み育てていくことが必要です。

・・・

NPO・企業等の多様な民間主体による事業型の地域づくり活動
(地域ビジネス) を効果的に促進・・・

税金配分依存型社会
の限界

(国土交通省)

ソーシャルインクルージョン（社会的包括）

「全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う」

目指す地域のかたち

- 誰もが社会のよき意図に関わることができ（権利）
- 無理なくその役割を果たし（責任）
- その創造的な営みを楽しむことができる（自発）



そうした市民の力により持続可能な社会を実現する

どうしたら、地域課題を自分事にして、
多くの人を巻き込める？

出張相談



寄り添う

(南あわじ市・沼島)

出張相談



(淡路市・商店街)

研修会



(洲本市で)

会計セミナー



事務支援

農業と地域の未来
を考えるセミナー



フットワーク

(淡路市)

地域の集まり
に



地域課題解決とコミュニティ・ビジネス

淡路市市民協働センターでセミナー開催



中間支援育成

淡路島 3 市との連携支援

- ・ O J T によるスタッフ育成
- ・ 支援を通じたノウハウや情報提供
- ・ 資料提供
- ・ セミナー支援

生きがいしごと
サポートセン
ター
播磨東

- ・ 起業・運営相談
- ・ 支援を通じたノウハウや情報提供
- ・ 資料提供

淡路市

洲本市

南あわじ市

淡路市市民協働
センター

まちづくりカ
フェ

N P O 法人
ソーシャルデザ
インセンター淡
路

洲本市

中間支援機能を持った「場」の設置によるまちづくり支援体制づくり



洲本市本町コモード56商店街に中間支援的な機能とプラットフォーム的な機能を合わせ持った「場」を設置

まちづくりカフェ で相談対応

2016年8月 OPEN!

まちづくりの拠点
**洲本
まちづくり
カフェ**

あなたの「困った」を一緒にサポート!
洲本市コモード56商店街に、みなさんの「困った」をサポートする拠点が誕生。日々の地域活動の悩みや、こんなこと始めたい! などなど...一緒に考えてみませんか?

開店日 毎月第2、第4 曜日 火曜日
時間 10:00 ~ 17:00
場所 洲本市コモード56商店街 プラチナプラザ

洲本まちづくりカフェでできること

- ◆「コト」はじめ相談
※予約
地域のために「なにかしたい」「地域で起きたい」などをはじめの一歩を踏み出す相談
- ◆運営相談
※予約
会計、資金、納税、印刷費や舞台費の作成など地域活動の課題についての相談

※本事業は、洲本市中心市街地活性化事業「まちづくりカフェ」を
実行主体の協賛から実施されています。

続きは裏面へ! ➡



「人を育てる」「人をつなぐ」

まちづくりコー ディネーター養成 講座

「人を育てる」「人をつなぐ」

全2回
9月16日(金)
14:30-16:30
10月4日(火)
14:30-16:30

「まち」をつくる、人になる！
まちづくり
コーディネーター
養成講座

in 洲本市健康福祉館
(兵庫県洲本市港2-26)

セミナー形式で、
まちづくり講座を開催します！

参加
無料！

8月に開設された、「洲本まちづくりカフェ」が
洲本市社会福祉協議会と連携で開催する
本格的なまちづくり講座です。
ぜひご参加ください！

お申込み方法は
裏面をご覧ください！

洲本まちづくりカフェ・洲本市社会福祉協議会 共催
『洲本まちづくりカフェ』はNPO法人が運営しています。



淡路島で「子ども食堂」を考えるセミナー



淡路島で
「子ども食堂」を考える

参加費
無料

尼崎市園田地区「そのっこたやけ食堂」の事例から

2017年
1月12日(木)
15:00~16:30
(14:30 受付開始)

場所：洲本市文化体育館 20-1・2
(兵庫県洲本市塩屋1丁目1番17号)

定員：30名(先着順)

第1部 講演

講師：鎌田 千佳子さん
(尼崎市社会福祉協議会地域福祉課次長兼ボランティアセンター長)

講師：中西 志津子さん(生活協同組合コープこうべ理事)

第2部 トークセッション

パネラー：鎌田 千佳子さん、中西 志津子さん
櫻本 香里さん(洲本商工会議所職員)

コーディネーター：佐 貴一(生きがらしごとサポートセンター福徳センター長)

主催：洲本まちづくりカフェ (運営:NPO法人ウィズアス)
後援：洲本商工会議所・洲本市社会福祉協議会

地域課題の解決へ 気づきのセミナー

女性のための起業応援カ
フェ

地域のか・女性を支援



コミュニティ・ビジネス スモールビジネスの支援

洲本市中心市街地のまちづくりを考える

他市の事例紹介



淡路島まちかどマルシェ

人とつながるマルシェ まちとつながるマルシェ 淡路島とつながるマルシェ

人のぬくもりを感じるマルシェ 淡路島を感じるマルシェ



淡路島まちかどマルシェ

Organic/Local/Handmade

2018年11月28日OPEN

淡路島まちかどマルシェ

毎月第2第4土曜日
11:00-16:00

【淡路島産物五内産物部
(コマーシャル)】
プロダクトデザイン
【淡路島産物づくり委員会】

有機野菜
魚介類
手作り食品
その他

「淡路島を盛り上げる」マルシェを開催

毎月第2・第4土曜日11時から、淡路島で採れた新鮮な有機野菜や加工食品、魚介類、手作り食品（焼き菓子、漬物など）を販売するマルシェを開催しています！ぜひお買い物におこしください！

淡路島まちかどマルシェ 開催場所
淡路市本町五内商店街（コマーシャル）
プロダクトデザイン「舞臺まちかどマルシェ」
〒894-0032
開催時間 土曜 9時～16時

主催：舞臺まちかどマルシェ（運営PRR&ワイズ）

淡路島まちかどマルシェ
毎月第2・第4土曜日
TEL:010-2116-1741

企画・制作：ワイズ
TEL:010-2116-1741
FAX:010-2116-1742



2016年(平成28年)11月27日 日曜日

淡路島 28

三姉妹船長の遊覧船「かすみ丸」 最後の週末景色楽しむ

乗客観光客、名残惜しみ
「日本正統派豪華の遊覧船」三姉妹船長の遊覧船「かすみ丸」が、淡路島の歴史ある港に最後の週末を過ごす。乗客観光客、名残惜しみ、船内から撮影された美しい風景が、乗客の心を魅了した。

残りわずかの客となった「かすみ丸」に乗りうと大勢の観光客が押し寄せた。一日半、三姉妹船長の遊覧船「かすみ丸」が、淡路島の歴史ある港に最後の週末を過ごす。乗客観光客、名残惜しみ、船内から撮影された美しい風景が、乗客の心を魅了した。

淡路島の有機野菜直売

洲本に開店、お手頃価格で人気
淡路島の自然で育った有機栽培の有機野菜が手に入る。淡路島まちかどマルシェにて、本町6丁目で開催された。

「淡路島産物づくり委員会」主催の「淡路島まちかどマルシェ」が、淡路島の自然で育った有機栽培の有機野菜が手に入る。淡路島まちかどマルシェにて、本町6丁目で開催された。

淡路島の自然で育った有機栽培の有機野菜が手に入る。淡路島まちかどマルシェにて、本町6丁目で開催された。

人とつながる まちとつながる 淡路島とつながる

淡路島まちかどマルシェ

巻き込む



いろいろな人が応援

商店街・市民を巻き込み



179 淡路島まちかどマルシェの歌

カポ2
2016/12 作詞・作曲 柏木 英樹

C Em G C Em G
あなたとつながるマルシェ まちとつながるマルシェ
C Em G C D7 G
鳥とつながるマルシェ めぐもり感じるマルシェ

3.
G Em D G
障がいある人も 健常者も
G Em D G
共に歩む 共生のお店
Em Bm C G
こだわりの品 いっぱい並び
Em Bm C D7
鳥の誇り あなたに届くよ

Em Bm C G
おいでいらしゃい ふれ愛の店へ
C G D7 G
ここは 淡路島 まちかどマルシェ

C Em G C Em G
あなたとつながるマルシェ まちとつながるマルシェ
C Em G C D7 G
鳥とつながるマルシェ めぐもり感じるマルシェ
C Em G C Em G
あなたとつながるマルシェ まちとつながるマルシェ
C Em G C D7 G
鳥とつながるマルシェ めぐもり感じるマルシェ

2.
G Em D G
島に住む人の 手づくり野菜
G Em D G
きれいな空気 吸った野菜
Em Bm C G
無農薬で 土壌も自然
Em G D7
体に元気が 戻るよ

Em Bm C G
おいでいらしゃい ふれ愛の店へ
C G D7 G
ここは 淡路島 まちかどマルシェ

淡路島初のオーガニック野菜を扱う
淡路島まちかどマルシェ

1/14(土) 11:00~16:00
コモド56・プラチナプラザ

淡路島で採れた新鮮な有機野菜や無農薬野菜・島の特産品・手作り品(焼き菓子・雑貨などなど)を販売するマルシェを開催しています!ぜひお気軽にお越しください!毎月第2・第4土曜日11時から開催しております。

100食限定(先着順) **鴨汁振る舞い**

—鴨汁を食べて、酉年に大きく羽ばたこう!—

日時/1月14日(土) AM11:00~
会場/コモド56・レインボープラザ

「淡路島まちかどマルシェ」で販売しているおいしい野菜がたっぷり入っています!

広がる活動と人

洲本市支援メニュー

相談

「コト」はじめ相談

寄り添い

運営相談

人の資源
を活かす

ヘルプ・ヘルパー登録

事例紹介

まちかどミーティング

セミナー開催

気づき

まちかど3世代交流健康体操

興味のあることから

淡路島まちかどマルシェ

身近なニーズに答える



米田邸プロジェクト

築108年の古民家「米田邸」再生 来春開設へ

(産経新聞 8月25日)

8/25(金)

産 経 新 聞

<第三種郵便物認可>

築108年の古民家「米田邸」再生

改修が予定されている築108年の米田邸。午前中には見学ツアーも行われた—24日、洲本市本町7丁目



補強が施された米田邸の土間。物が傾斜しているところ

洲本でワークショップ 地域創成拠点、来春開設へ

洲本市の本町7丁目商店街にある築108年の古民家「米田邸」の再生に向け、NPO法人「淡路島SPO支援センター」が24日、洲本市塩屋の市文化体育館で利用法について考える市民参加型ワークショップを開催した。地域創成の拠点として来春のオープンを予定している。

米田邸は明治42(1909)年10月に建てられ、砂糖問屋として使われてきた。その後、乾物屋に貸されたが、約10年前から空き家になっている。持ち主の米田文郎さん(87)は大阪府高槻市で耐震補強など改修費約1200万円の半分を負担して

県、市の補助を受けて再生。改修後の管理運営をSPO支援センターが担当する。

米田邸は敷地約265平方メートル、蔵を除いたエリアの改修工事を9、10月から始めて来春完成予定。同センターでは工期間中にインターネットで資金を募るクラウドファンディングを実施し、内装工事を捻出する計画という。蔵も2期工事として来年度に改修する予定。

改修後、母屋2階は同センターも入居するワークスペース(共有オフィス)として利用することが決まっている。そのほかの活用方法について同センターは「地域の人の居場所、観光、担い手育成」をコンセプトに地域創成の拠点とする方針で、地域住民や行政、高校生ら約30人が参加したワークショップで話し合われた。

グループ別の討議でカフェなどのアイデアが出され、同センターは今後の参考にしていこうと、同センターの李直一代表理事(60)は「地域の皆さんを巻き込んで、『私たちの米田邸』と思ってほしい。移住相談やセミナー開催など地域の課題解決のための拠点としていきたい」と話している。

洲本市本町7丁目



米田邸



**少子高齢化のなかで
地域創生の拠点として
共助共生社会の実現を目指し
市民のエンパワーメントを高め
人と人 人と地域をつなぐことで
地域課題を解決していく場所**

「みんなでいっしょにごはん」 プロジェクト

(目的)

- Y O R I S O I 米田家の目的である、若者・子ども支援の柱となる事業
- 自然な子どもの居場所のなかで、声になりにくい子どもの声を聞き、励まし、地域で支えていく場
- 食を通じて、つながり、セーフティネットとなり、地域で子どもを支える場
- 支える大人のエンパワーメントを開発する場

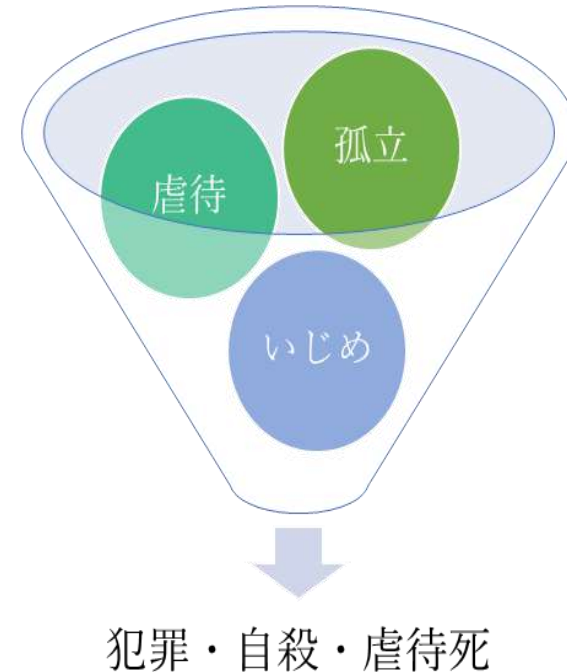
淡路島ごはんフェスティバル（通称：淡路島ごはんフェス）開催概要

（タイトル）

淡路島の地産地消を食べよう「みんなでいっしょにごはん」

（特長）

- ① 淡路島産の食材をなるべく使い、食育の側面を持った「ごはんフェス」
- ② コラボシェフ ホテル料理長 × 洲本高校クッキング部
一流シェフと地元高校生のコラボ料理
- ③ 地域が協働して子どもを支援。



① エンパワーマン
ト

② コミュニティ・ビジネス

③ 地域資源



④ コレクティブ・インパクト

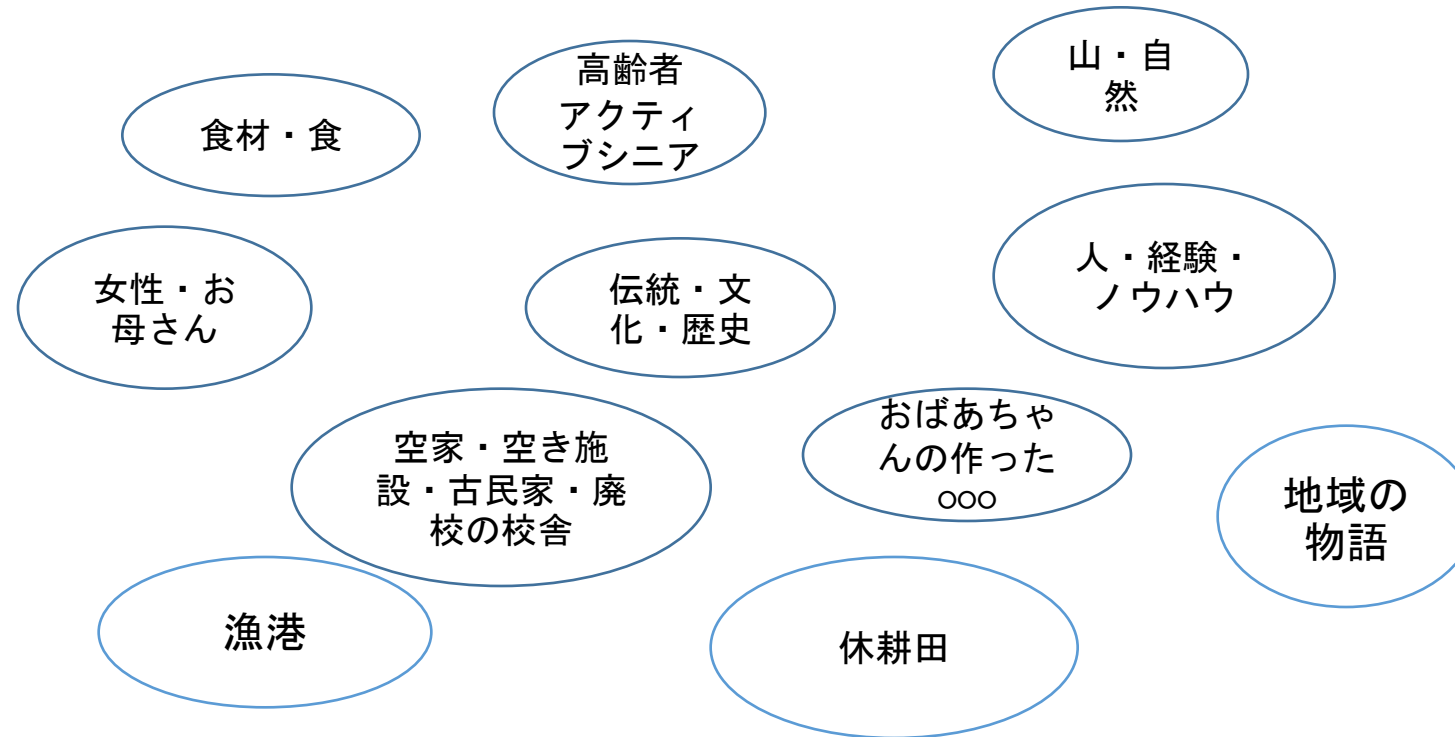
⑤ Win-Win

⑥ 共感

⑦ ヘルプカ

成功のコツ

地域の資源

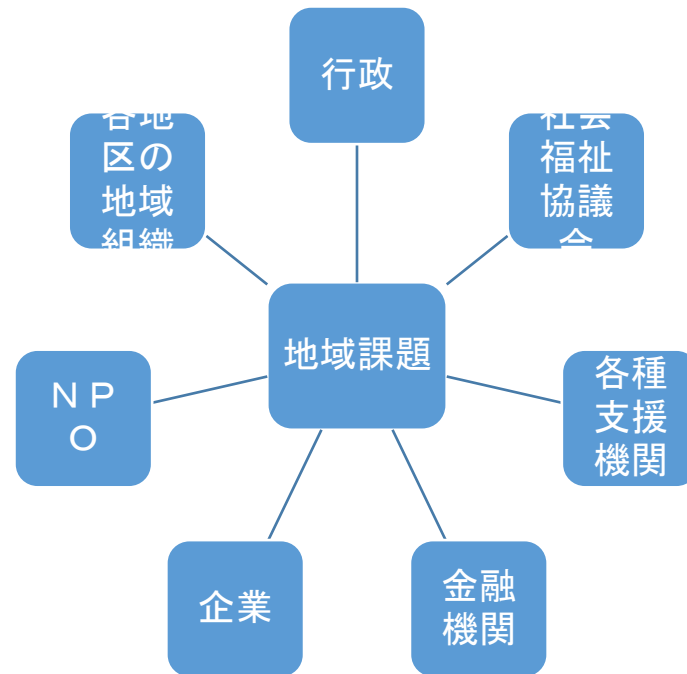


Win - Win

で人をつなげる

コレクティブインパクト

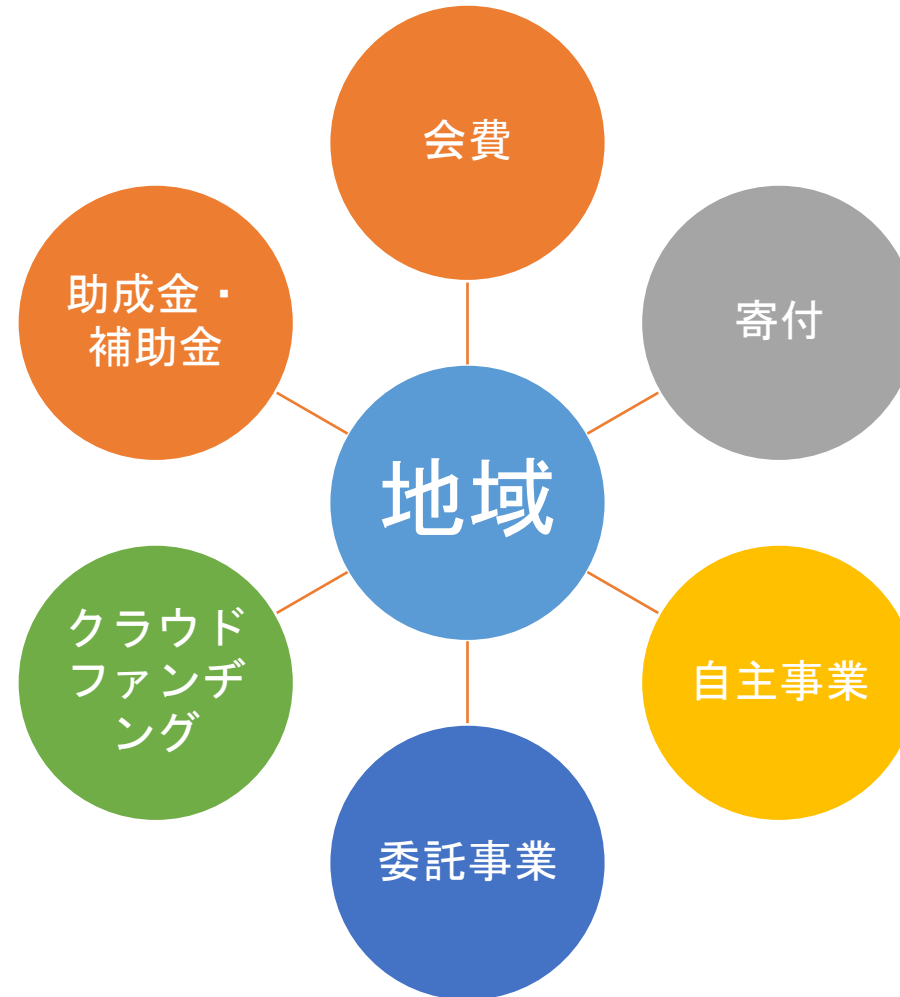
様々なセクターが強みを活かして、地域課題を解決する



ステークホルダー



多様な資金源

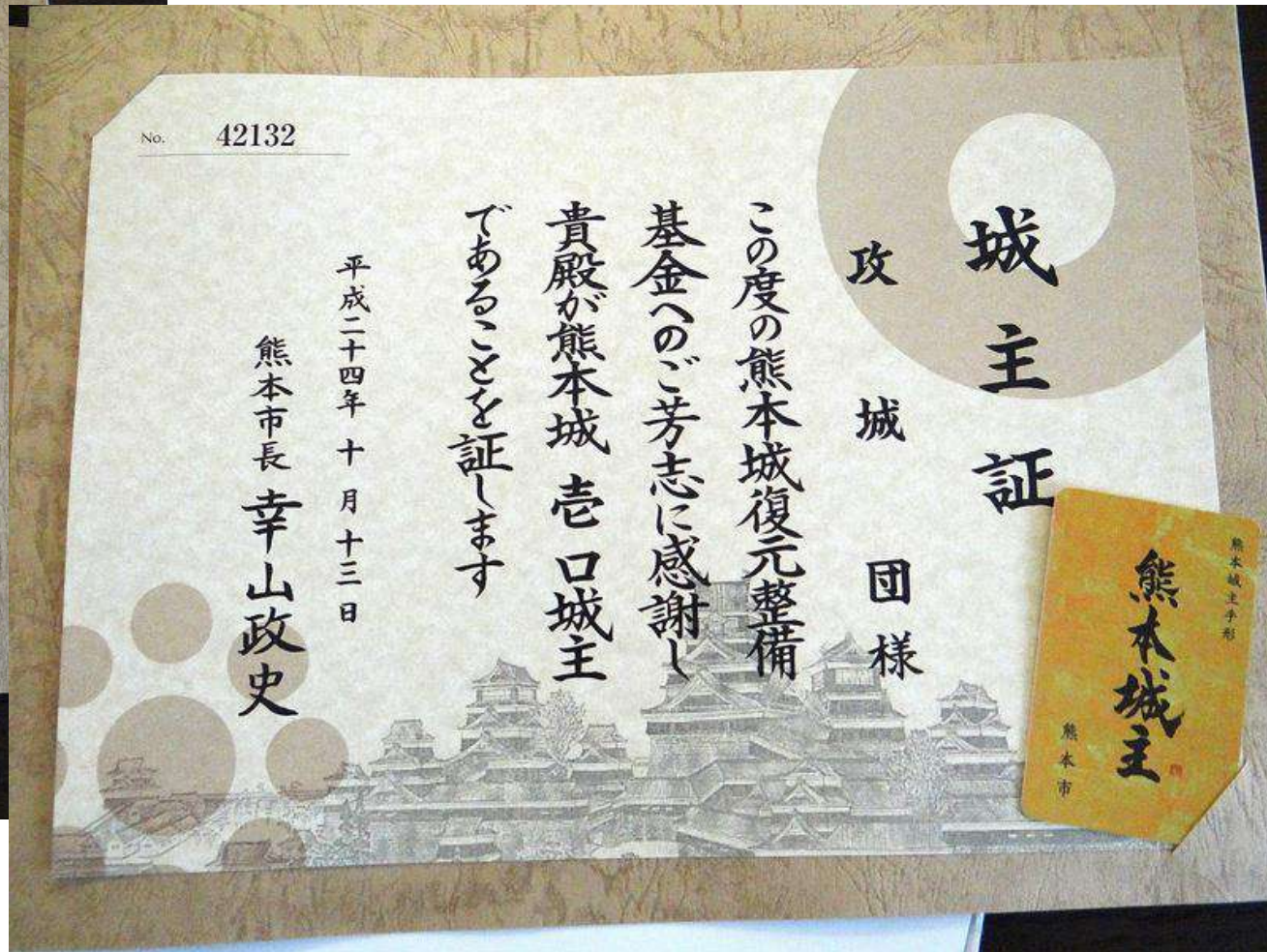


地域がつながるしごとを創るために

- 発想の転換
- 地域資源の見方を変える
- 多様なステークホルダーがいる
- 多様な資金源がある

楽しいデザイン





コミュニティ・ビジネスができるまで

① とげに出会う

なんとなく・・・

- 心の中に引っかかっている棘がある
- なんとなく胸が痛んだ
- なんとなく、そのままにしておけない気がした

② とげに会いに行く

もっと知りたい

- とげに会いに行く
- ニュースを見る
- 新聞を読む
- 友人に聞く
- 体験する

③ とげと向き合う

どうしたら・・・

- 深い問題意識が生まれる
- 解決したい
- どう解決する？

④ 「なぜ」を繰り返す

なぜ？ どうして？

- なぜ、障がい者の彼は、旅行をあきらめたんだらう？
- なぜ、障がい者は施設で暮らさなければならぬんだらう？
- なぜ、家で人生の最後を迎えることができないんだらう？
- なぜ、親はかわいい自分の子どもを虐待するんだらう？
- なぜ、病気の子どもを保育園は預からないんだらう？
- なぜ、親が認知症になって、彼は会社を辞めなければならなかったんだらう？

⑤ 構造が見えてくる

構造が分かる

- 心の痛みを感じる
- 何がその人を苦しめている状況を生み出しているのか

⑥ どうすれば可能か

こうすれば・・・

- ここを、こうすれば問題が解決するかも・・・
- ダメ出しは、後回し
- こうすれば、ああすればを繰り返す

⑦ 検証、反証、そして検証

くりかえし、くりかえし

- 仮説を立てる
- よくわからないことは、ヒアリングや書籍、現場に入る、で検証する
- 「こうすれば」に反証が出てきたら、「では、どうすれば可能か」を考える
- 代案を出す
- 繰り返す

(反証にひるまない 反証をたくさん出しておけば、あとから、他の人にバシバシされることがない)

ものがたり

⑧ ビジネスモデル（たたき台）完成

できた！？

- 曲がりなりにも、課題を解決できるビジネスモデルが完成
- しかし、これもたたき台でしかない。

ものがたり

⑨ マネタイズ（お金を生み出すしくみづくり）

経済的にどう成り立たせるか

- 収入 - 経費 = プラスに
- いい事業 ≠ 売上げが上がる
- 顧客は2種類（① 受益者 ② 支援者）

（押さえておきたいこと）

- 利益の追求が目的ではない
- ミッションを明確にぶれずに

ソーシャルビジネスのマネタイズ マトリックス



⑩事業計画をつくろう1

現場の声を聴け

問題の構造を見誤らない

- 見学
- ボランティア
- 研究で入る

(SNSヒアリング)

- 「〇〇についてどう思いますか？」を投げかける (フェイスブック・ツイッター)

⑩事業計画をつくろう2

鳥の目

- 文献
- インターネット
- 徹底して調べる
- データは、いろいろ生きてくる

⑩事業計画をつくろう3

絵を書く（模式図・モデル図）

- 事業に絡むステークホルダー
- 事業サービスの流れ
- 時に人に見てもらう（妄想から現実近づける）

⑩事業計画をつくろう4

問う

- どんな人を助けたいのか（ターゲット）
- 助けを必要としている人は、どれくらいいるのか（市場規模）
- どんな仕組みで助けるのか（モデル）
- お金は誰が払うのか？ 助けたい人から、いくらもらうのか（マネタイズ）
- ほかに、似たような事業を行う人や団体は存在するのか？（競合）
- 上記の人や団体と、自分たちとの違いは（差別化）
- どういう組織にするのか（組織デザイン）
- 今後、どのようにして広がっていくのか（スケールアウト）

⑪ 広報

自分を売り出さず、社会的課題を売り出す

- 新聞
- テレビ
- フェイスブック
- ツイッター

(社会性ゆえにとりあげてもらいやすい)

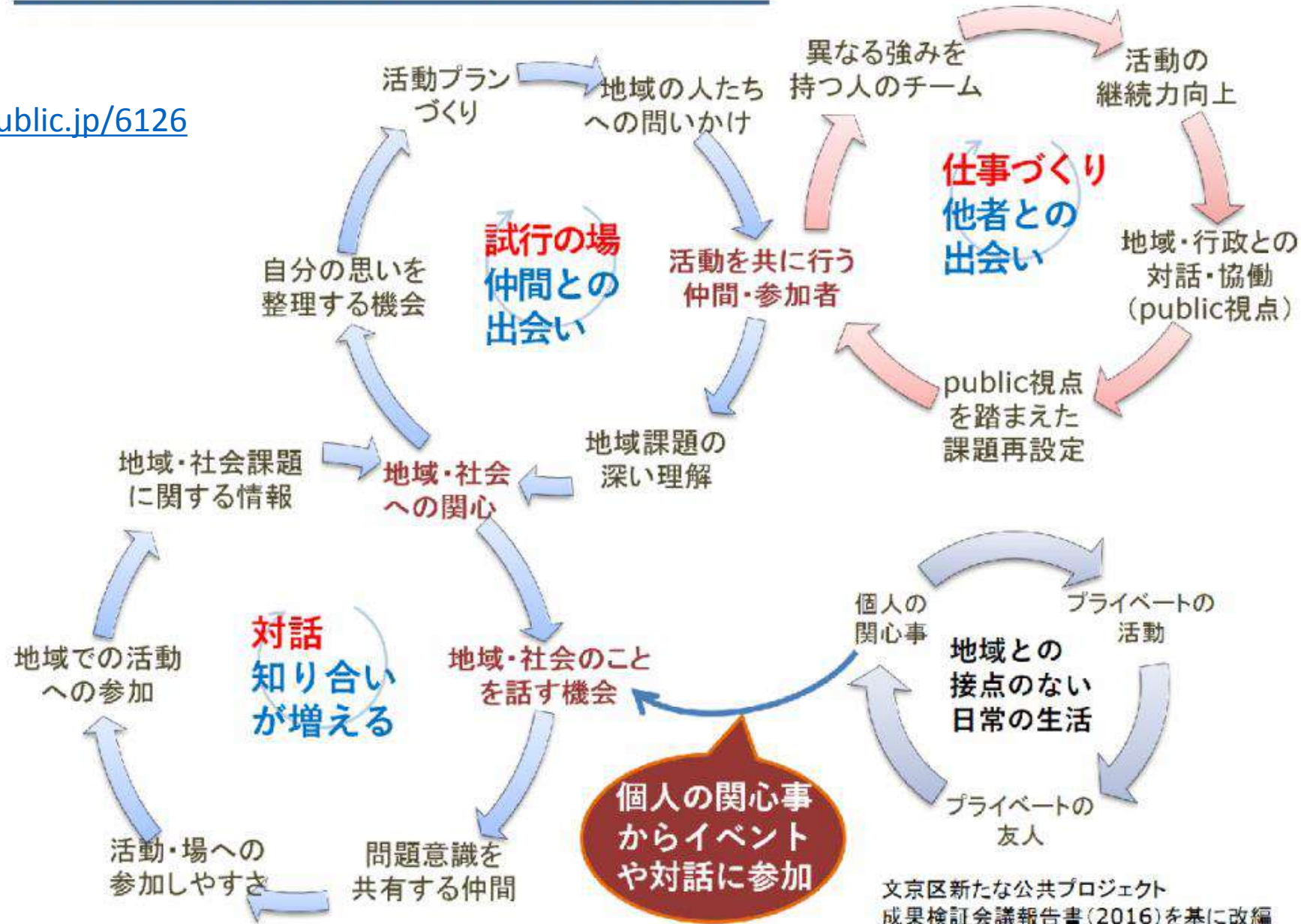
⑫立ち上げ時 人・組織

- コレクティブインパクト
- プロボノ
- ボランティア

対話から始まる 社会に役立つ仕事を生み出すプロセス

empublic*

<http://empublic.jp/6126>



目的

幸せに暮らし続けること

貧困がないこと
すべての人に居場所と役割があること
つながりがあること

地域が幸せに暮らし続けるために

経済 ≠ 幸福の尺度

お上に言う・何とかしてもらおう
(行財政の限界)

ボランティアに支えてもらおう
(非日常の限界・支える側の限界)

お上にお金と人が居る？
ボランティアの限界

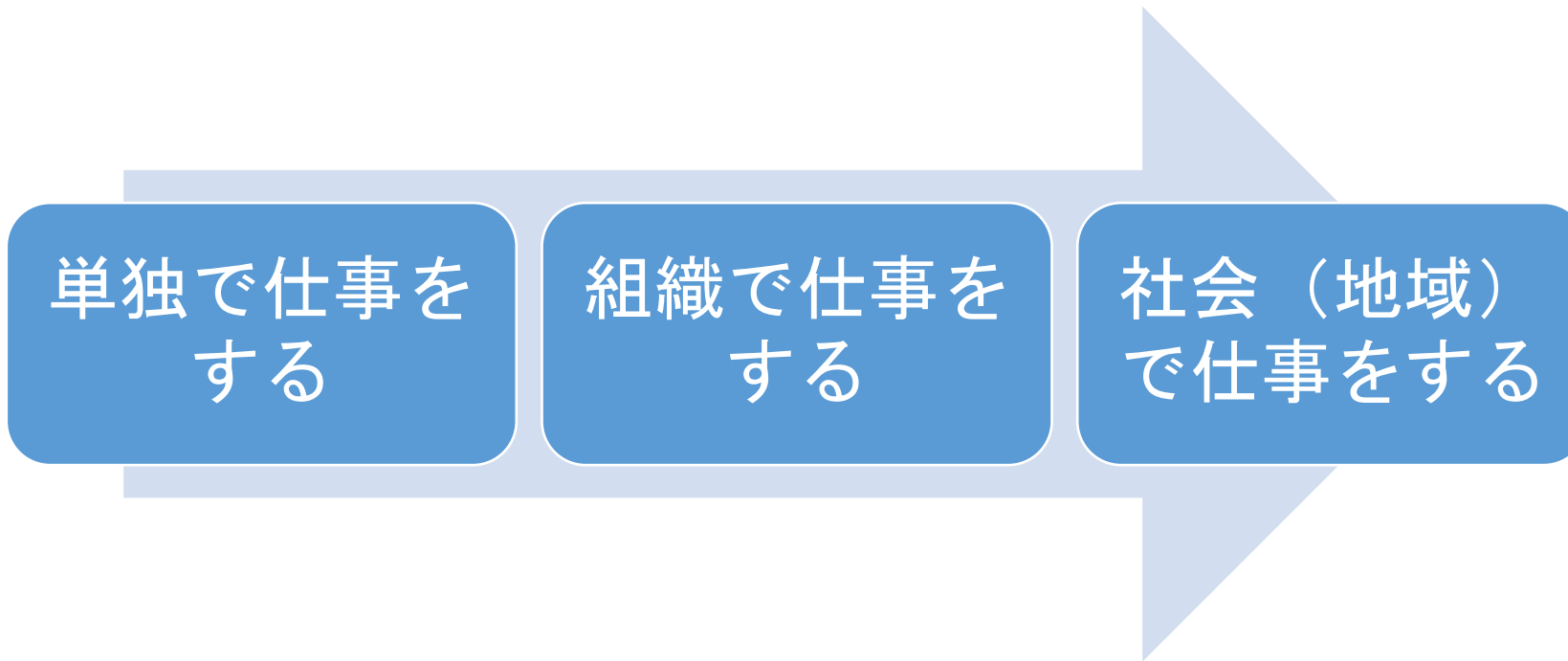


どこまでも
支える側と支えられる側の格差が
存在し続ける

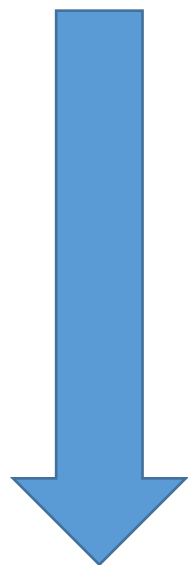
支えられる側の存在で満足・
幸福を感じることができるのか？

居場所・しごとの創出

しごとの変化



強みを知る



- 地域を知る
- 掘り下げる・分析
- 事業を組み立てる
- 資源を調達する
- 解決ビジネス

地域の人の自分ごとにする

- 地域を巻き込む
- 当事者としての市民
- 物と一緒に人と地域を売っていく

徳島県・上勝町

山（葉っぱ）と高齢者

The screenshot shows a web browser window displaying the homepage of '株式会社いのだり' (Irodori Co., Ltd.). The browser's address bar shows 'irodori.co.jp/own/index.asp'. The website has a green and white color scheme with a header featuring the title 'いのだり' and illustrations of people. A navigation menu includes 'ホームへ', 'いのだりストーリー', 'セミナー・視察', '講演依頼', '葉っぱ商品', 'アクセス', 'リンク', and 'お問合せ'. The main content area is organized into several columns:

- いのだりストーリー** (Irodori Story)
- 葉っぱ商品** (Leaf Products): Includes 'leaf navi', '今月の商品・出荷情報', and '商品使用例'.
- インターンシップ研修情報** (Internship Training Information): Includes '申込みフォーム' and 'インターンシップ研修詳細'.
- 上勝町視察** (Utsunogahara Inspection): Includes '視察詳細', 'お問合せ・お申込み', and 'こちらをクリック'.
- いのだりセミナー** (Irodori Seminar): Includes 'セミナー詳細' and 'お問合せ・お申込み'.
- 横石知二講演** (Yokishi Tomonori Lecture): Includes '講演詳細' and 'お問合せ・お申込み'.

On the left side, there are three large green buttons labeled 'アクセス' (Access) and 'リンク' (Link). Below the navigation menu, contact information for '株式会社いのだり' is provided: 〒771-4501, 徳島県徳島市上勝町福原字平間71-5, TEL. 0885-46-0166, FAX. 0885-46-0577, and a link to the company profile. A '▼お知らせ' (Notice) section features a movie poster for '人生、いのだり' (Life, Irodori) with the text '四国いち小さな町で起こった奇跡の物語'.

The Windows taskbar at the bottom shows the system tray with the date '2016/08/24' and time '17:14'.

発想の転換

神山町

<http://www.ashita-lab.jp/special/637/>

The screenshot shows a web browser window with the URL <http://www.ashita-lab.jp/special/637/>. The page is titled "あしたのコミュニティラボ" (Ashita Lab) and features a navigation menu with categories: Special (特集), Discussions (ディスカッション イベント), Opinions (インタビュー・対談), Cases (事例紹介), Columns (コラム), Lab (共創ラボ), and About (あしたのコミュニティラボ). The main content area displays an article titled "四国の山里で働くという選択 —IT企業が惹きつけられる町・徳島県神山町—" (Choosing to work in the mountains of Shikoku — a town that attracts IT companies, Shikoku Prefecture, Kagawa City). The article is dated December 19, 2012, and has 5734 likes, 89 retweets, and 21 Google+ shares. It includes a large photograph of a mountainous landscape with terraced fields. The text below the photo discusses the town's appeal, mentioning high-speed internet and the presence of IT companies. The right sidebar contains sections for "Information" (お知らせ), "Lab" (共創ラボ) with a "UX Thinking" project, and "Pick Up" (注目記事) featuring an article about social innovation. The Windows taskbar at the bottom shows the date as 2014/09/17 and the time as 17:47.

「東京と違って、仕事以外の疲れをあまり感じません。いちばん大きいのは通勤時間がないこと。寝起きしている母屋から仕事場の離れまで10秒ですから」と笑うのは、広報担当の磯山江梨さん。

Sansanは、寺田規弘さんが三井物産株式会社を辞して2007年に創業した社員70名のITベンチャーだ。クラウド名刺管理サービスの提供を事業ドメインにしている。



ICTインフラ 光ファイバー網

ふつうに仕事をしていれば、地域の魅力が見えてくる!? —アクトイブワーキング@日南

Recent Entries

- 開かれた子育てができる社会を目指して —NPO法人マドレボニータが目指す開かれた産後 (後編)
- 心のリハビリも、産後には必須 —開かれた産後を目指すNPO法人マドレボニータ (前編)
- 【体験記】小さな一歩から —神戸からSXSJWに参加して
- “上山集楽”には、なぜ企業が熱視線を送るのか? —上山集楽みんなのモビリティプロジェクト (後編)
- 限界集落で進む、新型モビリティの社会実装 —上山集楽みんなのモビリティプロジェクト (前編)

Hot Keywords

注目のキーワード

- 共創
- 地域活性
- アイデアソン
- ものづくり

あしたのコミュニ...
4551 いいね! の数

このページに「いいね!」

「いいね!」した友達はまだいません

@ashita_labさんのツイート

Page top >

すでにあるものを見直してみよう

ママ・ストーリー

The screenshot shows the homepage of the MAMA STORY website. At the top, there is a navigation bar with the company logo and contact information. The main content area is divided into several sections:

- Header:** Logo for MAMA STORY, contact number 0120-515-001, and a list of services including home management, childcare, and pet care.
- 会社概要 (Company Overview):** A table providing details about the company, including its name, representative, business content, and office locations.
- メニュー (Menu):** A list of services offered, such as home management, childcare, and pet care.
- サービスエリア (Service Area):** A list of cities where the company provides services, including Osaka, Kyoto, and other regions.

項目	内容
名称	ママ・ストーリー
代表	佐々木 美
業務内容	家事代行、ハウスクリーニング、ベビー&キッズシッター
本社	〒673-0853 兵庫県石市緑野山手町8-16 TEL: 078-917-5831 FAX: 078-919-0153
岡山営業所	兵庫県岡山市東区1-5-13-1F TEL/FAX: 072-723-5216
川西営業所	兵庫県川西市東経路2-3-26-2F TEL/FAX: 072-795-3829

生活代行
劣らない技術
ママ目線

顔の見える関係

施設を持たない
訪問型
地域の子育ての
プロ



寄附 助成金 事業収入

The screenshot shows a web browser window with the URL nponet.jp/ombfactory/ouendan. The page features a sidebar on the left with various navigation links and a main content area on the right. The main content area includes a section titled "寄付で支える病児保育支援" (Childcare support supported by donations) and a prominent "ひとりおかんっ子を救え。病児保育支援" (Save a Hitori Okan child. Sick child childcare support) banner. Below this, there is a call to action: "ひとりおかんっ子をみんなで救え。ひとりおかんっ子応援団員になる！" (Save Hitori Okan children together. Become a Hitori Okan child support team member!). The page also contains a testimonial section titled "病児保育支援でできることー利用者の方ー" (What can be done with sick child childcare support - from the user's perspective) and a section about "病児の預け先を確保し、転職することができます。" (Secure a place to leave sick children and you can change jobs.).

OSAKA 2016
ノベル公式ブログ
代表 高田香のブログ
フロントレジャー部のブログ
ひとりおかんっ子 病児保育プロジェクト
ひとりおかんっ子 応援団
ノベル公式 Facebookページ
ノベル公式ツイッター

全館で一歩外 大阪の21区に展開。その9割は母子家庭で、平均年収は213万円。これは児童扶養手当も含んだ額で、1ヵ月約1万円。平均1.5人の子どもを育てていることになります。子どもを育てるための、施設利用の保育サービスを利用、納付した結果、その費用だけで月10万円を要したケースも報告されています。

子どもに十分な教育が与えられず、施設が受け継がれてしまうことも

一事の困難さ。こゝろを救済することもできるお母さんです。子どもの教育費にかけられる支出は、一般家庭平均の約半分。それは子どもの教育費が限られてしまふことと等しい。半力低下を一回に受け取られています。さらに、施設利用は、自費の倍差が認められて、子どもに受け継がれていくことです。

寄付で支える病児保育支援

この危機を乗り切れるため、そして子どもの継続的成長のために、わたしたちの力でサポートできる仕組みをつくりたい。それが、寄付で支える病児保育支援。その名もひとひとりおかんっ子応援団です。

ひとりおかんっ子を救え。病児保育支援

子どもの養育費に、親にかけられる負担をスタッフが子どもをサポートする「病児保育サポート」でカバーし、ひとりおかんっ子も安心して生活し、お母さんだけでも生活できるようなります。

- 1) 子どもを病児保育でも仕事をつづけられる安心感
- 2) ひとりおかんっ子の教育・保育費の支援
- 3) 子どもにも笑顔が広がる遊園地も切り

このまつを待たないプロジェクトです。一度お母さん支援でなく、施設利用に支援しているため、その経験を有効活用で支えています。

ひとりおかんっ子をみんなで救え。
ひとりおかんっ子応援団員になる！

お申込みはこちら

病児保育支援でできることー利用者の方ー

ひとりおかんっ子の利用されているときに、ノベルの病児保育支援利用する前後の生活の状況に違いが感じました。

- 病児の預け先を確保し、転職することができます。

病児の預け先が確保できると、お母さん自身も、仕事を続けられるようになります。

(1) 働いていました。ノベルを利用するようになって、病児保育を利用している間は、仕事を続けることができた。転職もできた。(お母さん 様)

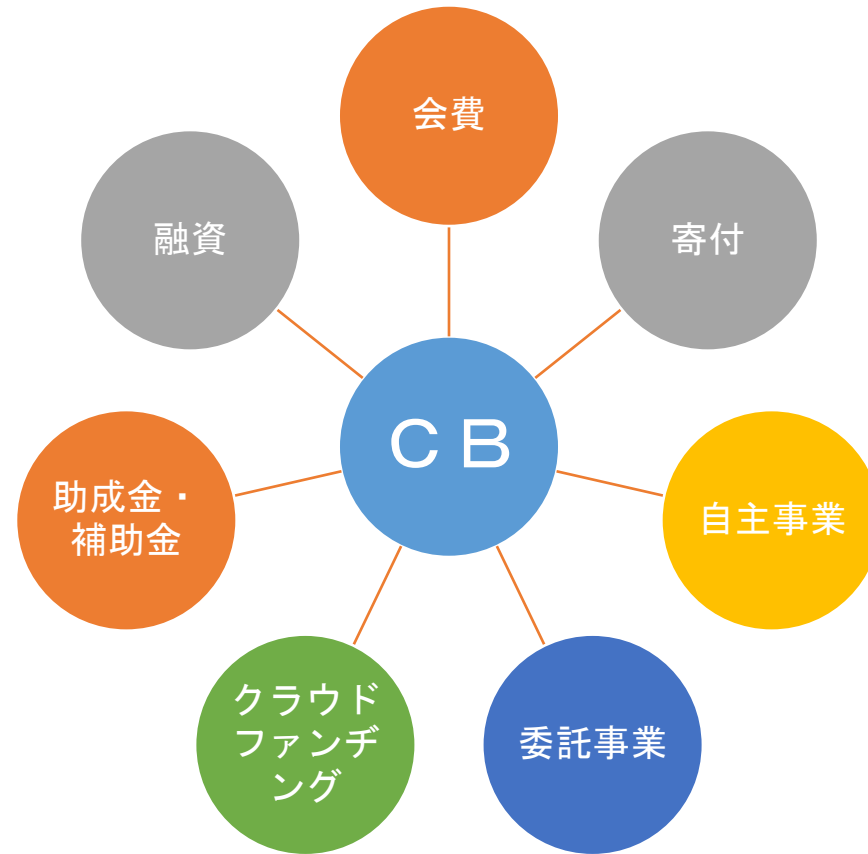
- 仕事を休むと欠陥に...心の傷跡になりました。

いろいろな組み合わせ
いろいろな方法
これまでの枠にこだわらない
地域にあるものは何でも使おう

— ステークホルダー —



資金



枠を超える

- 多様なステークホルダーがいる
- 多様な資金源がある

北淡地域にある事例

生田地域の事例から

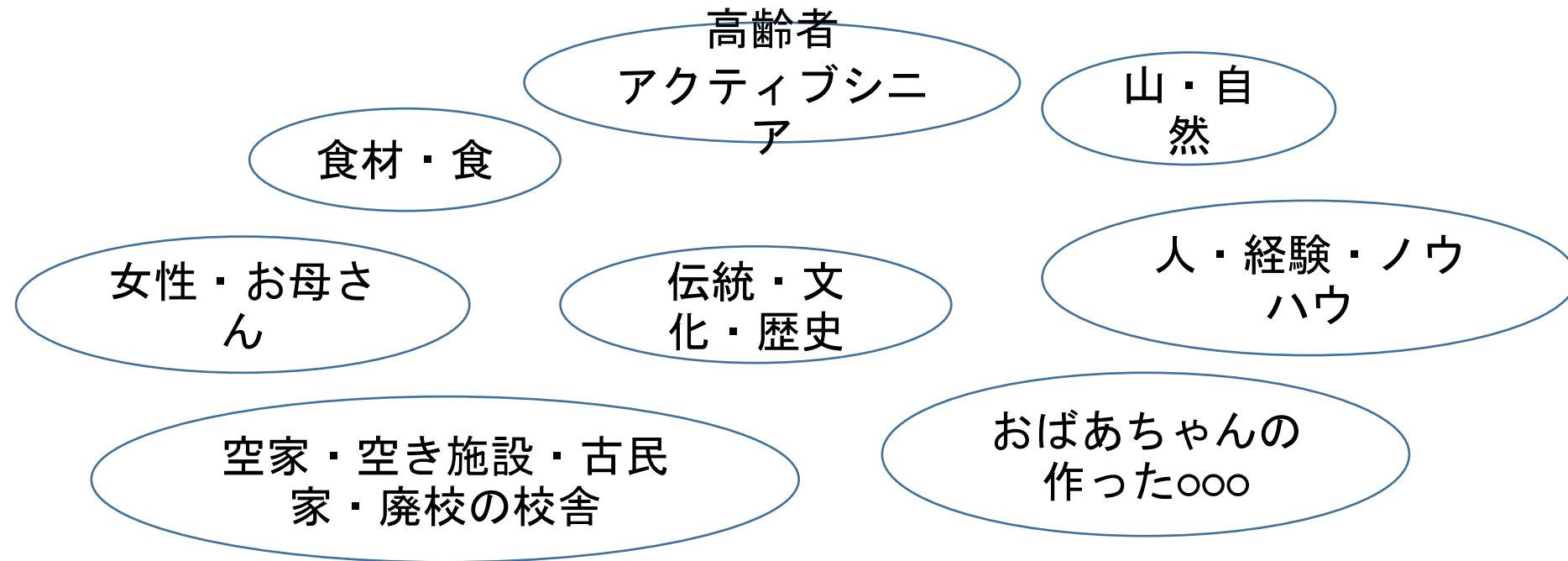
ポイント

- ①地元の強みを知っている
- ②かかわる人が自分ごとにできている
- ③先に危機感を持ち、行動に移せる
リーダーがいた

生田地域成功のポイント①

地元の強みを知っている

地域の資源



地域資源

- 耕作放棄地 ⇒ そば
- 景観 ⇒ 棚田 農村風景
- 廃園となった保育所 ⇒ そばカフェ
- 地域の女性 ⇒ 働き手
- 地域農産物を活用した商品づくり
 - ⇒ 地元でとれる野菜や古代米
 - ⇒ 淡路市の平飼養鶏場の鶏卵
 - ⇒ 洲本市の合鴨農法の合鴨肉

活かす

気付く

地域の強みを活かした取り組み

そば・棚田・ホタル・農村（自然）
強みを活かした都市住民との交流

生田村成功のポイント②

かかわる人が自分ごとに行っている

自分ごとに

- お客さんが少ないと心配する(スタッフ)
- 自分たちでプランニング(行政でなく)
- 地域の巻き込みで、当事者を増やしている

行政との関係

- 頼らない
- 活かす
- 方向性は自分たちで決める
- 引っ張ってもらうのではなく、背中を押してもらう
- 自分ごとにする

補助金・助成金

頼るものではなく、活かすもの

自分ごとに

- 成功体験
賃金アップ・開発商品が売れる等
- 地元愛
- 課題や目標の共有
- 地域の巻き込み

生田村成功のポイント③

先に危機感を持ち、行動に移せる
リーダーがいた

リーダーとしての素養

- 未来の危機を予測し、行動に移す
- 自分たちの目標はどこにあるか、常に示す
- 地域をひとつにまとめる
- 本気の一人

巻き込む

- (若者) 20代～ 若い人をイベントで巻き込む (地域住民)
- 現役世代 (次を担う人材との意識) (地域住民)
- 女子大生
- 都市住民 (イベント)
- 夏休み親子そば打ち体験
- 文化財を巡るウォーキングツアーの開催
- 夏まつり復活
- 秋の里山写真コンテスト (長澤・生田・五斗長)

これからの地域づくり

地域の当事者としての市民を生み出す (石原氏)

- 誰もが社会のよき意図で関わることができ (権利)
- 無理なくその役割を果たし (責任)
- その創造的な営みを楽しむことができる (自発)



そうした市民の力により持続可能な社会を実現する

個人にあって
健康

高齢社会 健

- 自立度が下がり始めたところで、フレイル（虚弱）を遅らせることもポイントだ。
- そのためには食、身体活動、**社会参加**が重要だ

（東京大学高齢社会総合研究機構特任教授 辻 哲夫氏）

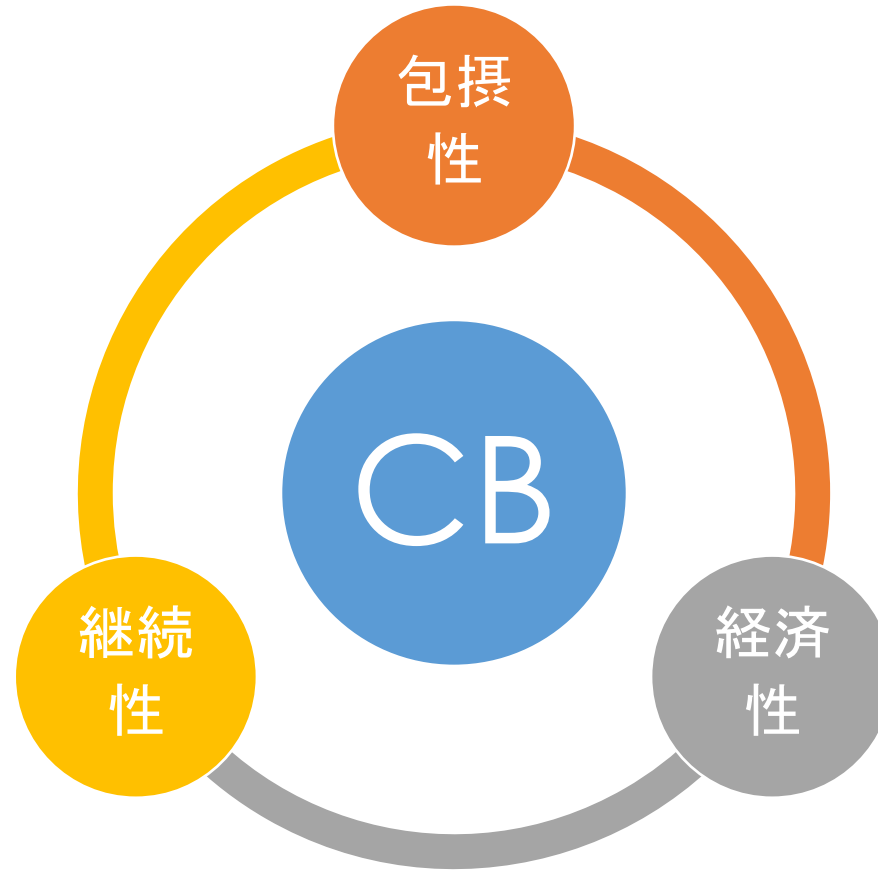
ソーシャルインクルージョン（社会的包 括）

「全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う」という理念

住民主体

つながり やりがい
雇用 地域活性 役割

多様な人



コミュニティの経営

— 共感に基づく経営 —

- 共感に基づく経営
- 人を幸せにする経営



共感をいかに広げるか

自分を売り出さず、社会的課題を売り出す

- <https://youtu.be/GBaHPND2QJg>
一人の少女の寄付から
- <https://youtu.be/g4PP8AJ1G20>
東北震災「上を向いて歩こう」
- <https://youtu.be/UNbJzCFgjnU>
九州新幹線全線開通
 - <https://www.youtube.com/watch?v=lthISUkkOPM>
I am blind help me !

淡路島の未来が動き出す



みなさんにもできることがあります